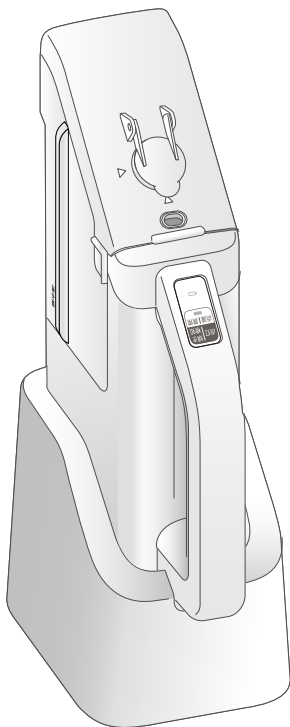


取扱説明書(WEB)

ハンディリンサークリーナー

型番:RNS-B200D



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

一 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.....	7
安全上の注意.....	7
使用上の注意.....	11
各部の名称.....	13
付属品.....	15
準備.....	17
充電.....	17
洗浄液の準備.....	19
使いかた.....	21
平らな床面を清掃する.....	21
傾斜面や壁面を清掃する.....	23
汚れがひどいときは.....	26
状態ランプについて.....	27
汚水を捨てる.....	28
お手入れ.....	32
お手入れの注意.....	32
本体・充電台.....	33
回収タンク.....	34
アタッチメントハンドツール.....	36
バキュームホース.....	37

ホルダーパッキン.....	38
フィルター.....	39
排気トレイ.....	40
タンク内部キャップ.....	42
こんなときは.....	43
故障かな？と思ったら.....	43
保管のしかた.....	45
廃棄について.....	46
その他の情報.....	47
仕様.....	47
保証とアフターサービス.....	48
保証規定.....	49
お問い合わせ.....	50

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

ー バッテリーについての注意

	・ 電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う 目に傷害が発生するおそれがあります。洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。
 分解禁止	・ バッテリーは分解しない 発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。
	・ 指定以外の方法で充電しない ・ 高温になる場所・直射日光の当たる場所で充電しない ・ 火に投げ入れたり、加熱したりしない ・ バッテリーを水につけない 発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。 ・ 本製品を落としたり、強い衝撃を与えない バッテリー内蔵のため、発熱・破裂・液もれにより、火災やけがの原因になります。 ・ バッテリーを取り外して単独で使わない



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 プラグを抜く	・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・発煙のおそれがあります。 〔異常の例〕 ・ 異常な音やにおいがする ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P50 (☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
 水ぬれ禁止	・ 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない ・ 本体や充電アダプターを水につけたり、水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。
	・ スプレーをかけたり、吸わせたりしない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) ・ 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど)、可燃性のものを吸わせない ・ 油煙や湯気を吸わせない

ー 充電アダプターは正しく使う

	・ 充電アダプターのプラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・ 充電アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	・ ぬれた手で充電アダプターの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	・ 充電アダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 ・ 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。
 分解禁止	・ 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P50 (☎ 電話をかける)にご相談ください。

	・ 感染症の疑いがある汚れやほこり、吐しゃ物などを吸引しない 感染症の原因になります。
	・ 回収タンクを取り付けずに運転しない けがの原因になります。

ー 充電アダプターは正しく使う

	・ 電解液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける 引火するおそれがあります。 ・ 電解液が皮膚や衣服についたときは、すぐに洗い流す 皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。
	・ 電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しない 発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。

	・ 掃除以外の用途に使用しない 異常動作・火災の原因になります。 ・ 業務など家庭用以外で使用しない 本製品は家庭用として設計されています。 業務など家庭用以外で使用する、火災などの原因になります。
	・ 吸引口がふさがれたまま運転を続けない ・ 排気口をふさがない 過熱による変形・故障・火災の原因になります。
	・ 火気・暖房器具などに近づけない 吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり火災などの原因になります。
	・ 乗ったり、寄りかかったりしない ・ 幼児の手の届く範囲では使用しない ・ 子どもに遊ばせない けがの原因になります。 ・ 屋外では使用しない 故障してショートや火災の原因になります。
	・ 充電アダプターを抜くときは、充電コードを持たずに必ず充電アダプター本体を持って引き抜く 充電コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 使用後は、必ず充電アダプターをコンセントから抜く 火災・感電の原因になります。
	・ 長期保管時は、満充電にしてから保管する

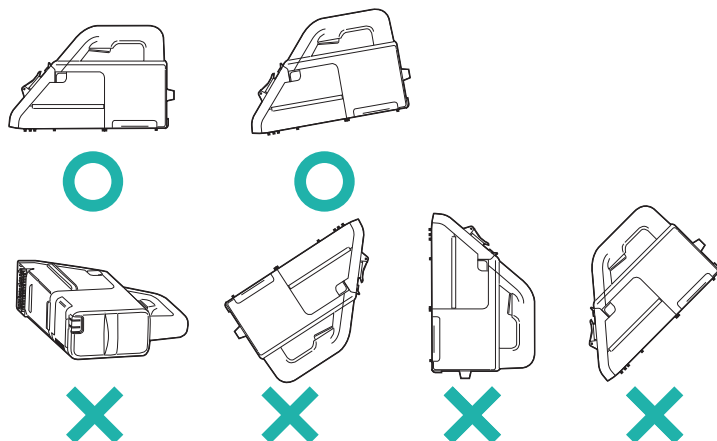
使用上の注意

- ・ 本製品はすすぎ洗いにより汚れを除去する商品です。
- ・ 回収タンクに汚水が入った状態で充電しないでください。
汚水がクリーナー内部に入り込み、運転時に排出口から汚水が吹き出したり、故障の原因になります。
- ・ 回収タンクの満水水位線以上に汚水を吸わないでください。
回収タンクから汚水がもれたり、クリーナー内部に汚水が入りこみます。
クリーナー内部に汚水が入りこむと、運転時に排気口から汚水が吹き出したり、故障の原因になります。
- ・ 水に弱い繊維(絹、アセテート、レーヨン、キュブラなど※)、水に弱い製品(毛皮、皮革製品、和装品、白木の家具、ニス塗の木製品、漆器など)、傷つきやすい面(フローリング、テーブルなど)には使用できません。
※パルシャ絨毯、シルク絨毯、アンティーク品、手織り絨毯、表示のない高級ラグなど
- ・ 回収タンクに汚水を入れた状態で、本体を大きく傾けたり、激しく振り回したり、落としたりしないでください。
回収タンク内の汚水がもれて、床などを汚損したり、クリーナー内部に入り込んで故障する原因となります。
- ・ 回収タンクの泡立ちが多く、満水水位線を超える場合は、直ちに運転を停止し、汚水をこまめに捨ててください。
故障の原因になります。
- ・ 洗剤を使用する場合は、発泡性の低い使用可能な洗剤(→[洗浄液の準備 P19](#))を使用し、洗浄対象に塗布してご使用ください。
- ・ 洗剤を使用する場合は、事前に洗浄物に影響のないことを確認した上でご使用ください。
- ・ 本体を毛足の長いカーペットなどにおくと、排気口をふさぎ、運転が停止するおそれがあります。
- ・ 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
 - ・ 乾いたほこりなど
 - ・ 多量の粉(消火器の消火剤など)
 - ・ 多量の砂、小石など
 - ・ 多量のごみ
 - ・ 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど
 - ・ 大きなごみ
 - ・ ビニール袋やストッキングなど内部に詰まりやすいもの

機械の故障を防ぐために

- ・ 乾いたほこりなどの吸引を行わないでください。
本製品のバキュームは湿式のため、故障の原因になります。
- ・ 寒冷地では、作業終了後は必ず回収タンク内・バキュームホース内・アタッチメントハンドツール内の残水を排出し、凍結しない場所に保管してください。
凍結により損傷することがあります。
- ・ 吸引中、バキュームホース内に回収物が詰まった場合は、直ちに運転レバーを放して電源を切り、詰まりを解消させてください。
故障の原因になります。
- ・ 吸引中、本体を激しく振ったり、急激に傾けないでください。
回収タンクの汚水が、クリーナー内部に水が入り込み故障の原因になります。

- ・ 吸引中、指定の方向以外に本体を傾けないでください。
回収タンクの汚水が、本体内部に水が入り込み故障の原因になります。

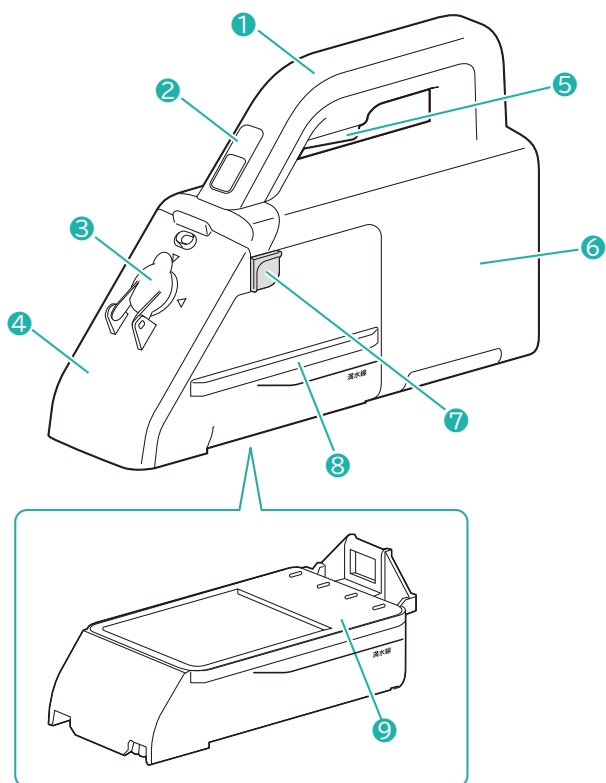


安全装置について

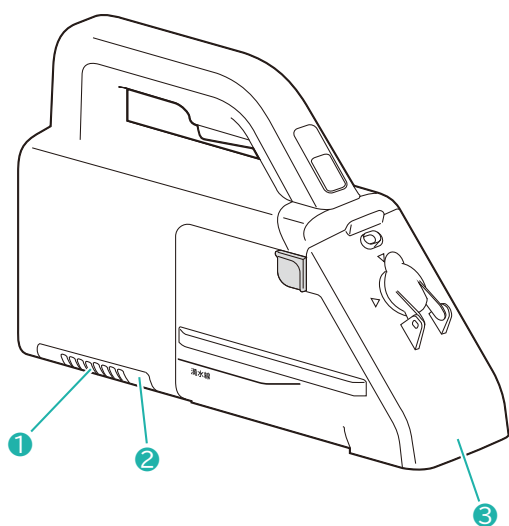
- ・ 指定の方向以外で使用した場合、本体内部に水が入らないように傾きセンサーが検知して運転を停止します。(傾斜時安全装置)
傾斜時安全装置が働いたときは、水平に近い状態にして、状態ランプの点灯が消えたのを確認し、運転レバーを押し直してください。
- ・ 満水水位線を超えても使用を続け、回収タンク内の汚水があふれて、本体に汚水が吸引されると運転を停止します。(異常吸引停止装置)
異常吸引停止装置が働いたときは、回収タンクの汚水を捨て、回収タンクを本体に再度取り付けてから、汚水が落ちてもいい場所で空運転をしてください。吸引された汚水が本体排気口より排出されます。

各部の名称

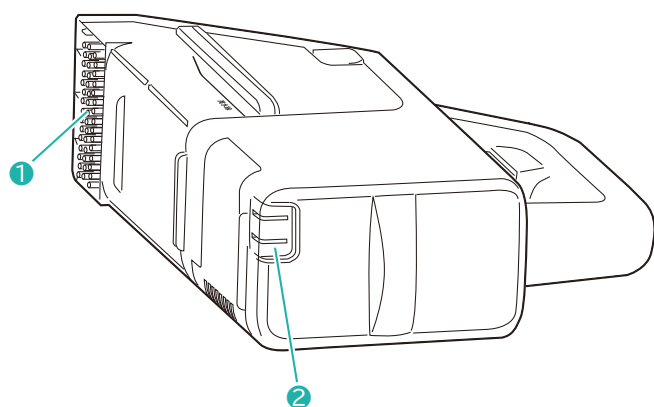
— 本体



- ① ハンドル
- ② LED パネル
- ③ アタッチメント接続口
- ④ フロントカバー
- ⑤ 運転レバー
- ⑥ 本体
- ⑦ 回収タンク取り外しボタン
- ⑧ 回収タンク
- ⑨ タンクパッキン

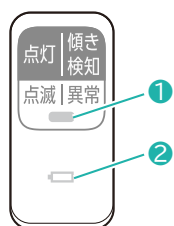


- ① 排気口
- ② 排気トレイ
- ③ 吸引口



- ① ブラシ
- ② 充電端子差込み口

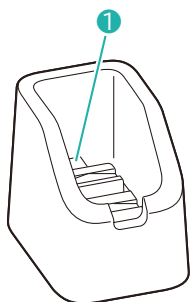
—LED パネル



- ① 状態ランプ
- ② バッテリーランプ

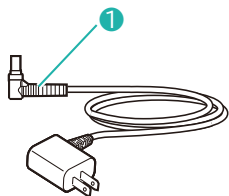
付属品

充電台



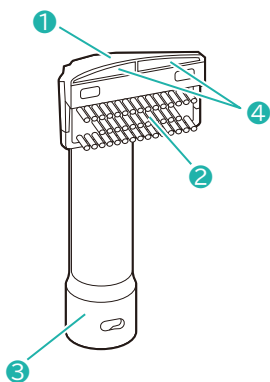
- ① 充電端子

充電アダプター



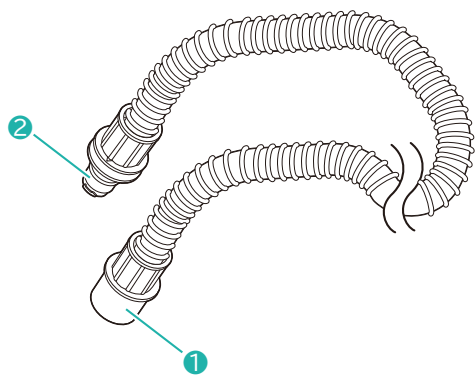
- ① 充電プラグ

アタッチメントハンドツール



- ① ハンドツールカバー
- ② ブラシ
- ③ バキュームホース接続口
- ④ 吸引口

バキュームホース



① ハンドツール接続口

② 本体差込み口

準備

充電



注意

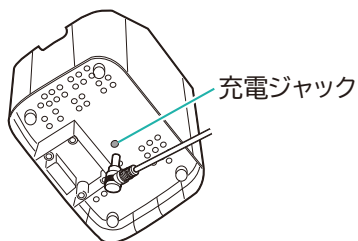
- ・ カーペットの上など不安定な場所に置かないでください。
- ・ フローリングなど、硬い安定した床の上に置いてください。
- ・ 人が通る場所に充電コードを這わせない。
万一人がぶつかって倒れたりした場合は、けがや周囲の物品破損の原因になります。
- ・ 回収タンクに汚水が入った状態で、充電しない。

！お願い

- ・ バッテリーは、購入時点では十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。
充電完了までにかかる時間は、約 4 時間です。

充電台の底面にある充電ジャックに充電プラグを差し込む

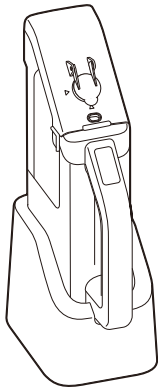
1



2 充電アダプターをコンセントに差し込む

本体を充電台にセットする

3



- ・ バッテリー ランプが赤色に点灯し、充電が開始されます。
- ・ 充電が完了すると、バッテリーランプが消灯します。

使用時のバッテリー残量について

- ・ バッテリー残量が少なくなると、バッテリーランプが点滅してお知らせします。
- ・ バッテリーランプが点滅したら充電してください。



バッテリーランプ	バッテリー残量
ゆっくり点滅	少ない
消灯	残量なし

バッテリーについて

- ・ 充電中に、バッテリーや充電アダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- ・ 充電時間・使用時間は、温度や使用状況により変化します。
- ・ 充電は、室温 5～35℃の範囲で行ってください。
室温が低かったり、直射日光が当たるなどして高温になると正常に充電されず、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。
- ・ 長期間(10 日以上)充電せず放置した場合は、必ず充電してから使用してください。

洗浄液の準備

本機は水や洗浄剤などの洗浄液を噴霧する機能はありません。別途洗浄液を用意する必要があります。

洗浄液は、スプレーボトルに入れると、汚れに噴霧しやすく清掃しやすいです。

洗浄剤は、落ちにくい汚れや染みついた汚れを洗浄したいときに使用してください。

汚れを浮かせて洗浄でき、効果的です。

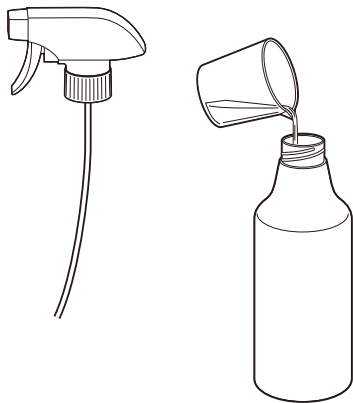


注意

- ・ 洗浄剤を使用するときは、カーペットの端の部分などで試してから、変色などの問題がないことを確認したうえでご使用ください。
- ・ 洗浄剤同士を混ぜて使用しないでください。
- ・ シンナー、ベンジン、塩素系漂白剤や引火性のある溶質、溶媒は絶対に使用しないでください。
変色や故障、火災の原因になります。
- ・ お使いになる洗浄剤の分量や用法については、洗浄剤の使用方法、注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

おすすめ	適さない
・強アルカリイオン水 ・重曹 ・クエン酸 ・次亜塩素酸水 ・アイリス製リンサークリーナー用洗剤 ・発泡性の低い洗剤 など	・台所用中性洗剤 ・強アルカリ性洗剤 ・強酸性洗剤 ・発泡性の高い洗剤 など <u>発泡性の高い洗剤は、クリーナー内部に泡が浸入し、故障につながるおそれがあります。</u>

市販のスプレーボトルやペットボトルなどに水や洗浄剤を入れて、洗浄液を用意する

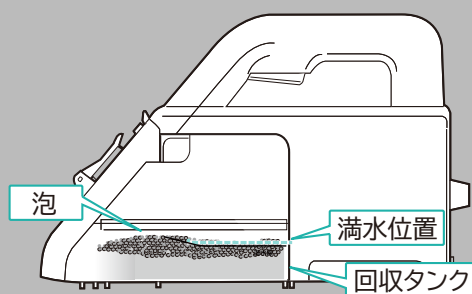


1

- ・ 回収タンク内の泡立ちが多く、満水水位線を超える場合は、運転を停止してください。
クリーナー内部に水滴が入りこむおそれがあります。クリーナー内部に水滴が入りこむと、運転時に排気口から汚水が吹き出したり、故障の原因になります。



注意



使いかた

平らな床面を清掃する

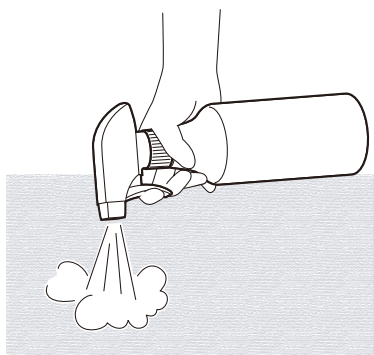


注意

- ・ 本体のみで清掃するときは、平らな床面の清掃のみに使用してください。
傾いた床面や壁面を清掃しようとする、傾きセンサーが作動し、うまく清掃できなかったり、水滴が本体に入り込み思わぬ故障の原因になります。
- ・ 傾いた床面や壁面を清掃するときは、必ずアタッチメントハンドツールを使用してください。(→ [傾斜面や壁面を清掃する P23](#))

汚れに洗浄液を散布する

- ・ 同じ場所に連続して洗浄液を散布しないでください。
生地奥まで水が染み込むと水分が残り、かびやにおいの原因になります。



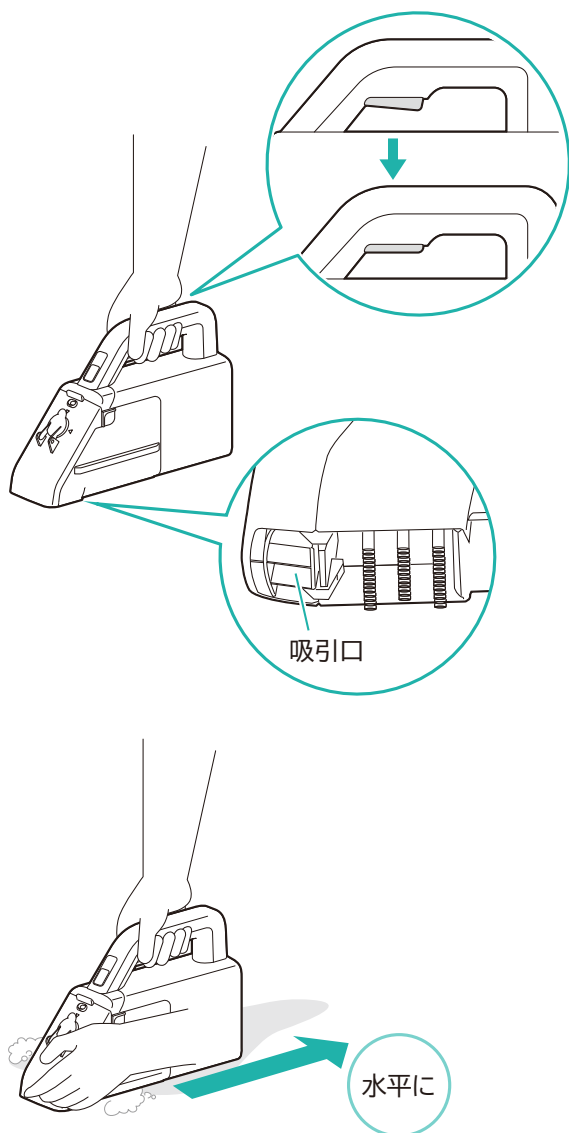
運転レバーを引いて、洗浄液ごと汚れを吸い取る

- ・ 運転レバーを引いている間のみ、電源が入ります。運転レバーを放すと電源が切れます。
- ・ 吸引口が水平になるように汚れに押しつけながらゆっくり手前に引き、よく水分を吸い取ってください。
回収タンク内に汚れた水がたまります。



注意

- ・ 必ず回収タンクの満水水位線を超える前に、回収タンク内の汚水を捨ててください。
清掃を続ける場合は、汚水を捨てた後、回収タンクを取り付けてから運転レバーを引いてください。
満水水位線を超えても使用を続けると、回収タンク内の汚水があふれて、回収タンクから汚水がもれたり、クリーナー内部に汚水が入りこみます。
クリーナー内部に汚水が入りこむと、運転時に排気口から汚水が吹き出したり、故障の原因になります。



ポイント

水分が残りやすい生地に使用した後は、扇風機などで風をしばらく当て、よく乾燥させてください。
水分が多く残っていると、かびやにおいの原因となります。

回収タンクを空にし、充電台に設置する

- ・ 保管前にお手入れを行ってください。(→[お手入れ 回収タンク P34](#))

3



注意

- ・ 充電台に設置する前に必ず回収タンク内の汚水を空にしてください。
故障の原因となります。

傾斜面や壁面を清掃する

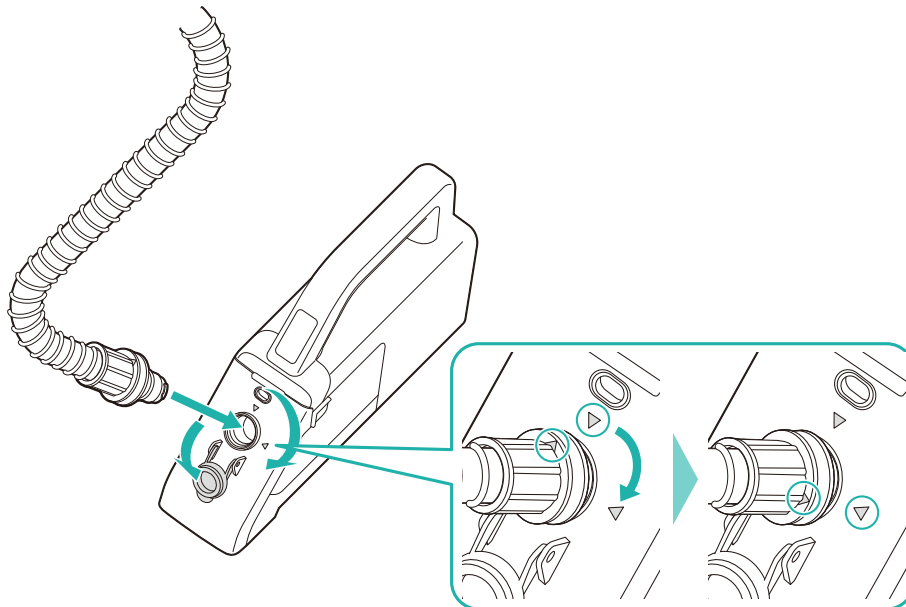


注意

- 傾いた床面や壁面を清掃するときは、必ずアタッチメントハンドツールを使用してください。
アタッチメントハンドツールを使用せずに傾いた床面や壁面を清掃しようとすると、傾斜時安全装置が作動してうまく清掃できなかったり、水滴が本体に入り込み思わぬ故障の原因になります。

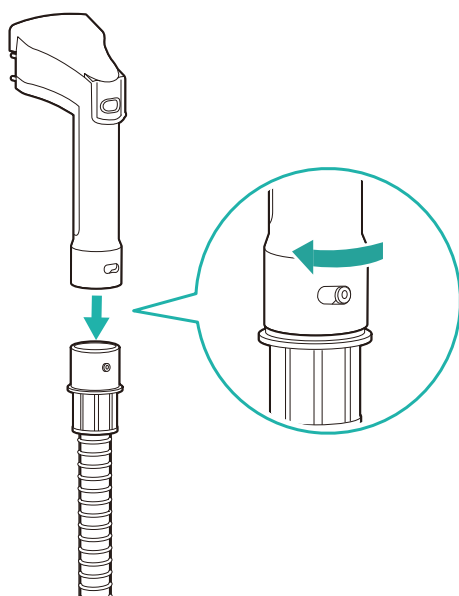
バキュームホースを接続する

- 本体のアタッチメント接続口を開けて、バキュームホースの本体差込み口を本体に挿入する。
差し込み口とフロントカバーの上側の印を合わせて挿入し、90°右に回転させて固定します。



アタッチメントハンドツールを接続する

- バキュームホースのハンドツール接続口に、アタッチメントハンドツールを差し込み、時計回りにカフスを回してロックしてください。



汚れに洗浄液を散布する

- 同じ場所に連続して洗浄液を散布しないでください。
生地のお奥まで水が染み込むと水分が残り、かびやにおいの原因となります。

3



運転レバーを引いて、洗浄液ごと汚れを吸い取る

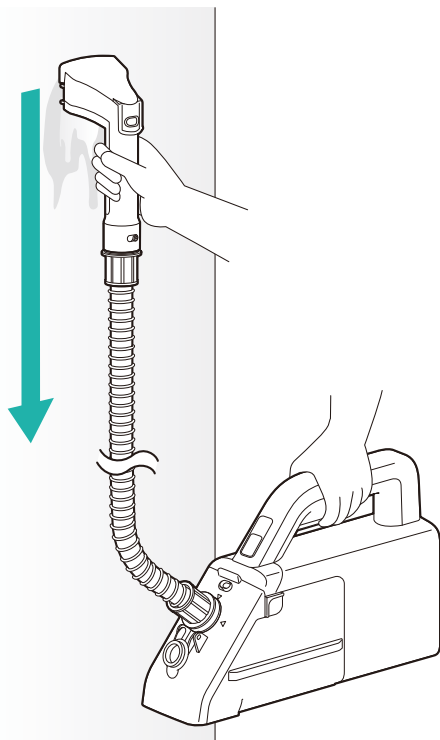
- アタッチメントハンドツールの吸引口を汚れに押し付けて、よく水分を吸い取ってください。
回収タンクに汚れた水がたまります。
- 吸引するときは、本体は必ず水平な状態を維持して、アタッチメントハンドツールを動かしてください。
本体を傾けると傾斜時安全装置が作動し、うまく清掃できません。

4



注意

- 必ず回収タンクの満水水位線を超える前に、回収タンク内の汚水を捨ててください。
清掃を続ける場合は、汚水を捨てた後、回収タンクを取り付けてから運転レバーを引ってください。
満水水位線を超えても使用を続けると、回収タンク内の汚水があふれて、回収タンクから汚水がもれたり、クリーナー内部に汚水が入りこみます。
クリーナー内部に汚水が入りこむと、運転時に排気口から汚水が吹き出したり、故障の原因になります。



回収タンクを空にし、バキュームホース、アタッチメントハンドツールを取り外して、本体は充電台に設置する

- ・ 保管前にお手入れを行ってください。(→[お手入れ P32](#))

5



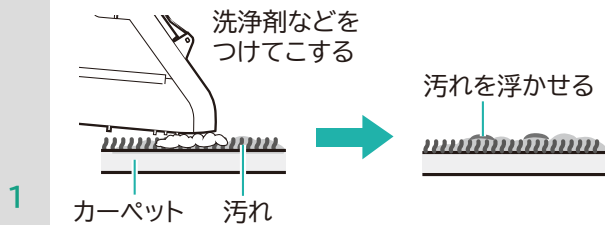
注意

- ・ 充電台に設置する前に必ず回収タンク内の汚水を空にしてください。故障の原因となります。

汚れがひどいときは

落ちにくい汚れや、染みついた汚れは、洗浄剤などで汚れを浮かせてから洗浄すると効果的です。

カーペットに洗浄剤などをつけ、本体やアタッチメントハンドツールのブラシなどで、こすって汚れを浮かせる

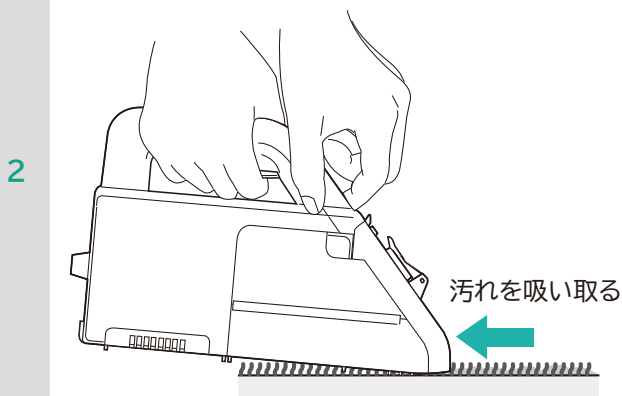


注意

- ・ お使いになる洗浄剤の分量や用法については、洗浄剤の使用法、注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

汚れを吸い取る

- ・ 使いかた(→[平らな床面を清掃する P21](#))にしたがって汚れを吸い取ってください。
- ・ 洗浄剤などが残らないように、しっかり吸い取ってください。



ポイント

40℃以下のお湯を使用すると効果的です。

状態ランプについて

- 本体が大きく傾いたときに、本体内部に水が入らないように自動停止し、ランプが点灯します。（傾斜時安全装置）
- 満水水位線を超えても吸引を続けて、回収タンク内の汚水があふれ、本体に汚水が吸引されると運転を停止します。（異常吸引停止装置）

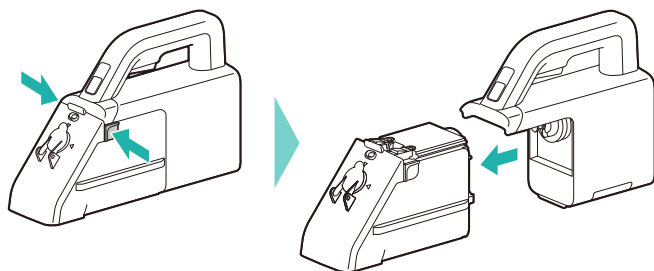


状態ランプ	状態
点灯	傾きを検知 （傾斜時安全装置）
点滅	本体への汚水吸引を検知 （異常吸引停止装置）

汚水を捨てる

回収タンクを外す

- ・ 回収タンクの左右にある、回収タンク取り外しボタンを両方押し込み、回収タンクを本体前方に引き抜いて、取り外してください。

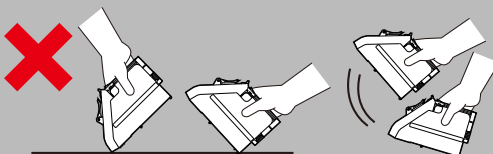


1

- ・ 外した回収タンクは、大きく傾けたり激しく振らないでください。回収タンクから汚水がもれるおそれがあります。

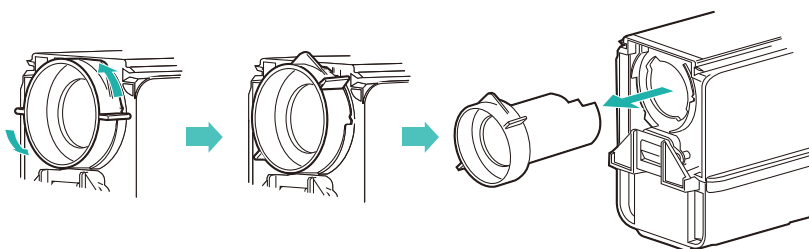


注意



フィルターホルダーを外す

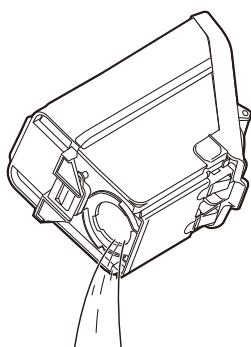
- ・ 回収タンクを本体から取り外した後、フィルターホルダーの取っ手を持ち、反時計回りに回して、フィルターホルダーを引き抜く



2

フィルターホルダーを外した穴から汚水を捨てる

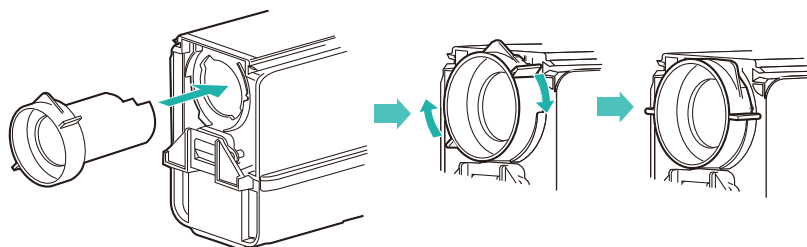
3



フィルターホルダーを取り付ける

- ・ フィルターホルダーをタンクに挿入し、奥に当たったら時計回りに回して固定する。

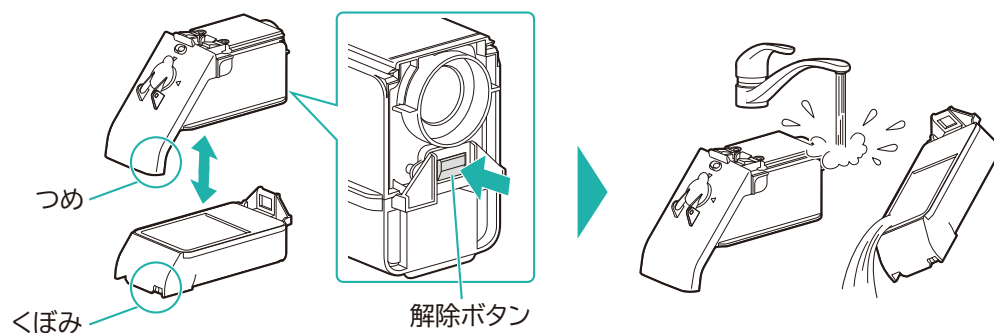
4



作業終了後は、回収タンク背面の解除ボタンを押して、タンクを取り外し、回収タンクをすすぐ

- ・ 回収タンクの開口部から水道水などですすいでください。

5

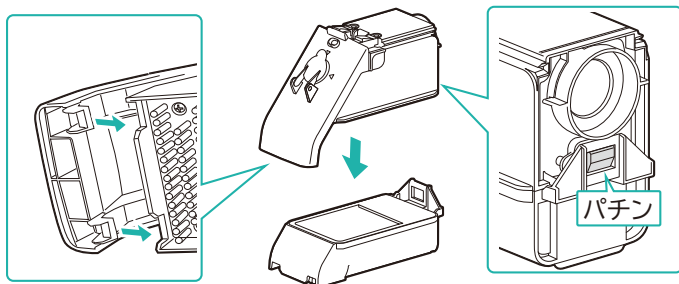


注意

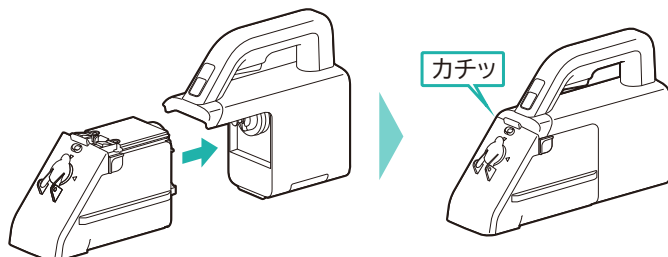
- ・ 回収タンクやバキュームホース内部にたまった汚泥を放置すると、微生物や菌が発生・繁殖し、においの原因となるおそれがあります。

回収タンクを本体に取り付ける

- ・ 上タンクのつめを、下タンクのくぼみにひっかけて、解除ボタンがはまるまで押し込んでください。



- ・ 回収タンクはカチッとなるまで押し込んでください。



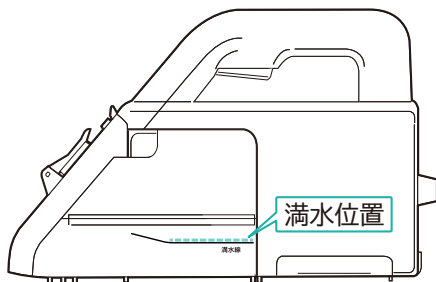
6



注意

- ・ 回収タンクが正しく取り付けられていないと回収能力の低下につながります。

- ・ 汚水は満水水位線を超える前に必ず捨ててください。満水水位線を超えても使用を続けて、回収タンク内の水があふれ、本体に汚水が吸引されると運転を停止します。(異常吸引停止装置)
異常吸引停止装置が働いたときは、回収タンク内の水を捨てて、回収タンクを取り外した状態で、汚水が落ちてもいい場所で空運転をしてください。



ポイント

気泡などにより満水になる前に異常吸引停止装置が動作する場合があります。



注意

- ・ クリーナー内部に水が浸入した場合、回収タンク内の汚水を捨て、回収タンクを本体に再度取り付けてから、汚水が落ちてでもいい場所で空運転をする。

- [回収タンク P34](#)

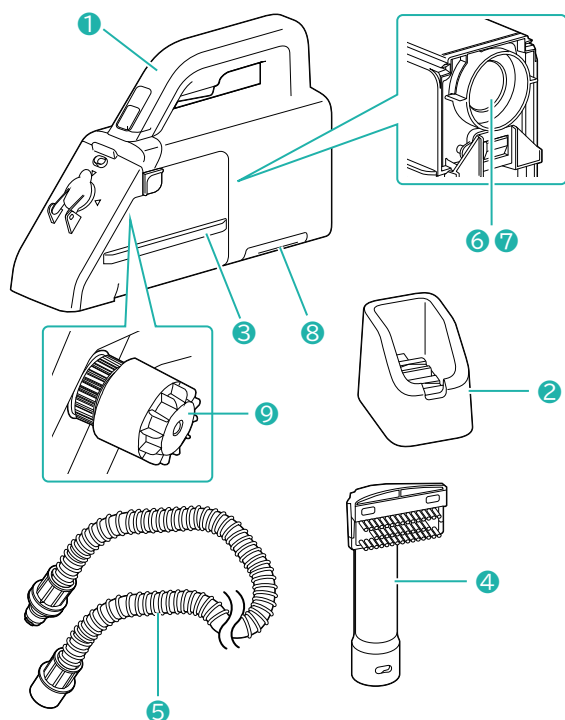
お手入れ

お手入れの注意



注意

- ・ お手入れは、必ず運転を停止して行ってください。
- ・ 本体・充電アダプターには、水をかけないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ・ 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- ・ 化学ぞうきんは使用しないでください。



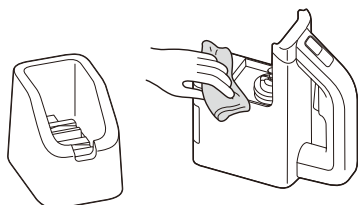
①	本体 P33	汚れの拭き取り
②	充電台 P33	汚れの拭き取り
③	回収タンク P34	水洗い
④	アタッチメントハンドツール P36	水洗い
⑤	バキュームホース P37	水洗い
⑥	ホルダーパッキン(フィルターホルダー内) P38	水洗い
⑦	フィルター(フィルターホルダー内) P39	洗浄・交換
⑧	排気トレイ P40	汚れの拭き取り
⑨	タンク内部キャップ P42	水洗い

各お手入れの説明については、上記のリンクをクリックしてください。

本体・充電台

汚れたとき

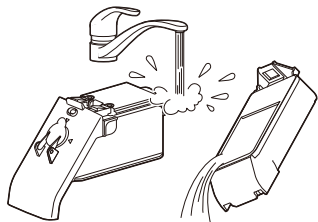
- 水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をかたくしぼって、汚れを拭き取ります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように、かたくしぼった布などで水拭きしてください。



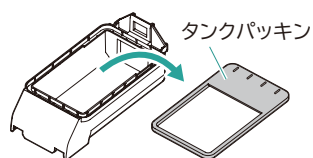
回収タンク

毎使用後

- ・ 本体から取り外した後、フロントカバーを外して水洗いし、十分に乾かしてください。

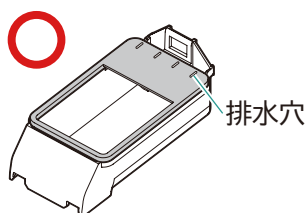


- ・ タンクパッキンが汚れたときは、タンクパッキンを取り外して洗浄してください。

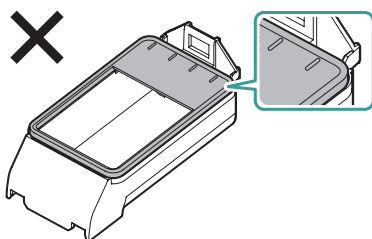


タンクパッキンの洗浄後は取り付け方向に気を付けてください。

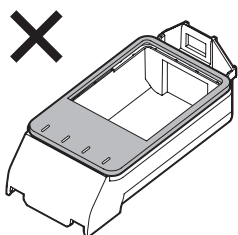
平らな面が上になり、排水穴が後ろ側にくるように、タンクパッキンを取り付けてください。



平らな面が上になっていない

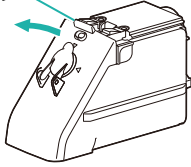


排水穴が前側になっている



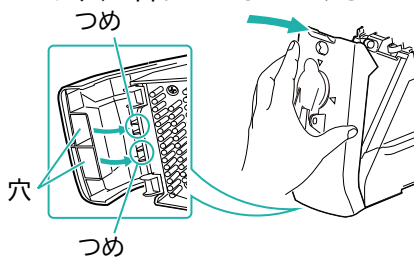
フロントカバーの取り外しかた

この部分を持ち上げて
ロックを外す



フロントカバーの取り付けかた

1. つめに穴を合わせてひっかける



2. カチッと音がするまで押し込み、確実に取り付ける

カチッ

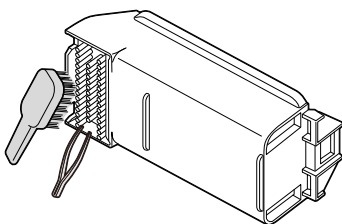


関連ページ

- ・ [汚水を捨てる P28](#)

1か月に1回程度

- ・ 回収タンクのブラシにほこりが付着している場合は、ピンセットやブラシなどで取り除いてください。

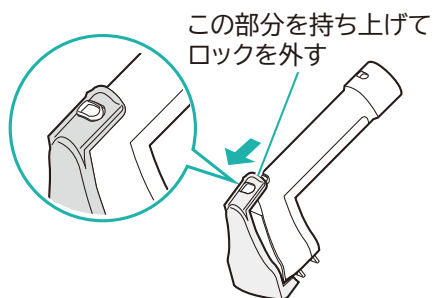


アタッチメントハンドツール

毎使用後

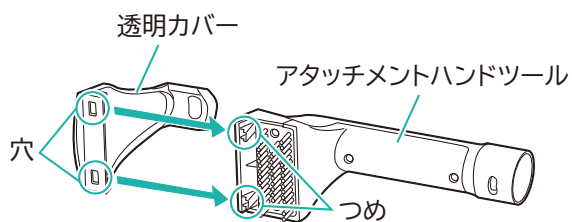
- ・ アタッチメントハンドツールは、吸引口の透明カバーを外してから水洗いしてください。

透明カバーの取り外しかた

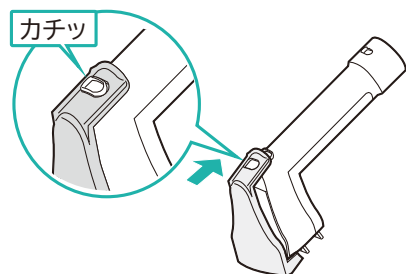


透明カバーの取り付けかた

1. つめに穴を合わせてひっかける

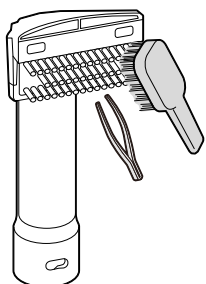


2. カチッと音がするまで押し込み、確実に取り付ける



1か月に1回程度

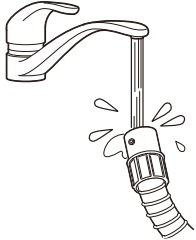
- ・ アタッチメントハンドツールのブラシにほこりが付着している場合は、ピンセットやブラシなどで取り除いてください。



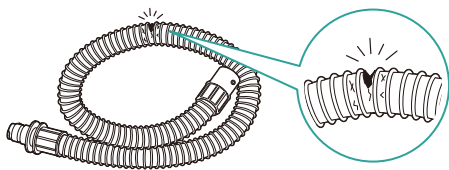
バキュームホース

毎使用後

- ・ バキュームホースの片側を水道の蛇口に近づけて、水を注いで ホース内部を洗ってください。



- ・ バキュームホースに穴が開いていないか確認してください。



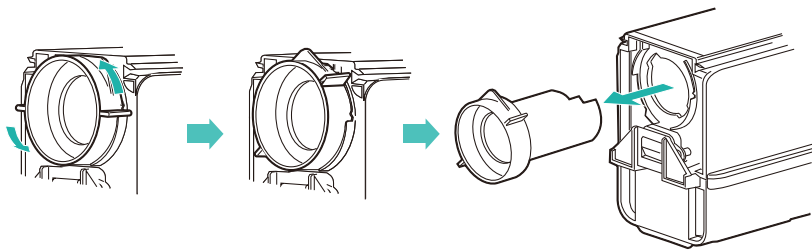
ホルダーパッキン

汚れたとき

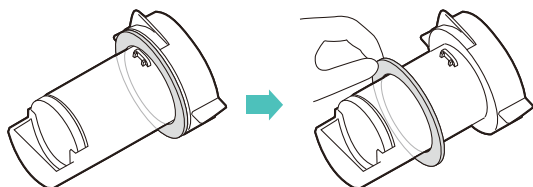
- ・ホルダーパッキンが汚れたときは、取り出して洗浄してください。

ホルダーパッキンの取り出しかた

1. 回収タンクを本体から取り外した後、フィルターホルダーの取っ手を持ち、反時計回りに回して、フィルターホルダーを引き抜く

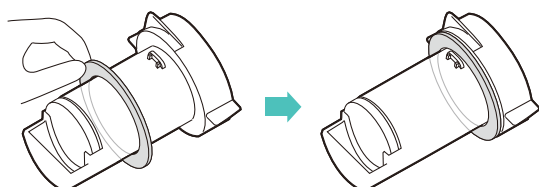


2. ホルダーパッキンを取り出す

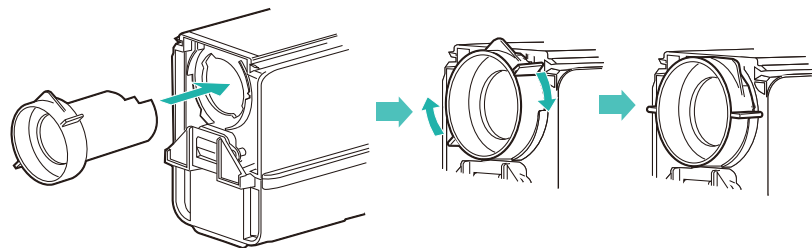


ホルダーパッキンの取り付けかた

1. ホルダーパッキンを取り付ける



2. フィルターホルダーをタンクに挿入し、奥に当たったら時計回りに回して固定する



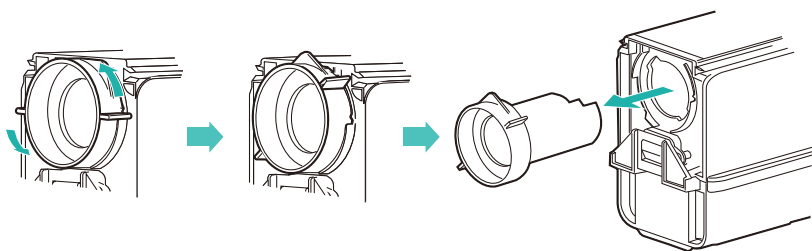
フィルター

ごみがつまったら

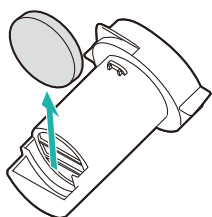
- ・ フィルターにゴミが詰まっている場合は、フィルターを洗浄してください。

フィルターの取り出しかた

1. 回収タンクを本体から取り外した後、フィルターホルダーの取っ手を持ち、反時計回りに回して、フィルターホルダーを引き抜く

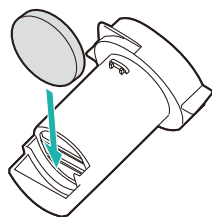


2. フィルターホルダーからフィルターを取り出す

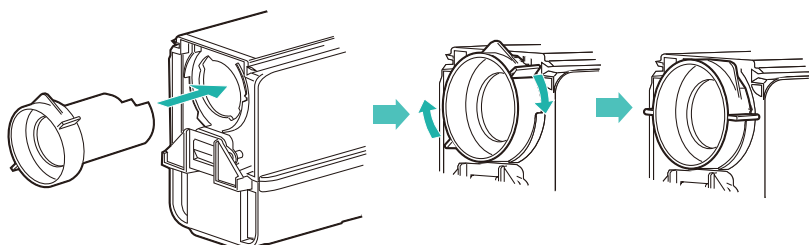


フィルターの取り付けかた

1. フィルターをフィルターホルダーに入れる



2. フィルターホルダーをタンクに挿入し、奥に当たったら時計回りに回して固定する



- ・ 水洗いをした場合には、フィルターを風通しのよい日陰などで、十分に乾燥させてから装着してください。
- ・ お手入れした後は、必ずフィルターを装着してください。

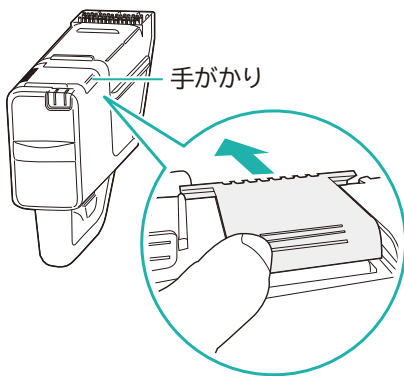
排気トレイ

本体に污水が入り込み、異常吸引停止装置が作動したとき

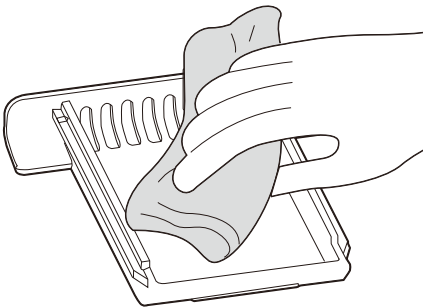
- ・ 本体に入り込んだ污水は、排気トレイにたまる可能性があります。
本体に污水が入り込んだときは、排気トレイを洗浄してください。
- ・ 排気トレイのお手入れをするときは、回収タンク内の污水を捨ててからお手入れしてください。

排気トレイの取り外しかた

排気トレイの手がかり部を押し込む

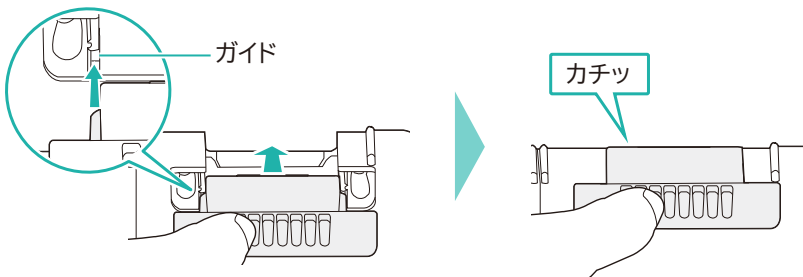


- ・ 水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をかたくしぼって、汚れを拭き取ります。
- ・ 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように、かたくしぼった布などで水拭きしてください。



排気トレイの取り付けかた

本体のガイドに合わせて挿入し、カチッと音が鳴るまで押し込む

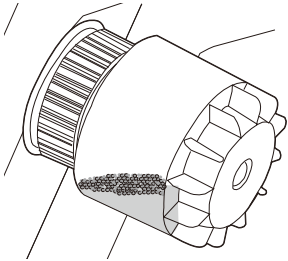


- ・ お手入れした後は、必ず排気トレイを装着してください。

タンク内部キャップ

タンク内部キャップに汚水が残ったとき

- ・ タンク内部キャップに汚水が残るときがあります。



- ・ タンク内部キャップに汚水が残ったときは、きれいな水を吸引して汚水を洗い流してください。
- ・ タンク内部キャップは、回収タンクから取り外さずにお手入れしてください。

こんなときは

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前によくお読みの上、以下の点を確認してください。

— 電源が入らない(動作しない)

→ バッテリーが消耗していることが考えられます。

本体を充電台に設置して充電してください。

→ モーターや内蔵バッテリーが過熱して、保護装置が働いています。

モーターや内蔵バッテリーが放熱するのを待ってから、使用してください。

→ 本体が傾いていたり、振動していて傾斜時安全装置が働いていることが考えられます。

本体を水平に近い状態にして、電源を入れてください。

→ 回収タンク内の汚水があふれて、本体に汚水が吸引されて、異常吸引停止装置が働いていることが考えられます。

回収タンクの汚水を捨て、回収タンクを本体に再度取り付けてから、汚水が落ちてもいい場所で空運転をしてください。

吸引された汚水が本体排気口より排出されます。

— 吸引しない、もしくは吸引力が弱い

→ 回収タンクを正しく取り付けてください。

→ バキュームホースに割れ・潰れ・折れ・詰まりなどがないか点検してください。

→ バッテリーの残量が少なくなっていないですか。

本体を充電台に設置して充電してください。

— 充電しても運転時間が短い

→ 室温が低すぎる場所や高すぎる場所で充電すると、正常に充電できないことがあります。

5～35℃の直射日光の当たらない場所で充電してください。

→ バッテリーが寿命に達していることが考えられます。

[修理専用コール P50](#) (☎ [電話をかける](#)) へご相談ください。

— 充電されない

→ 充電アダプターをコンセントに確実に差し込んでください。

→ 充電台底面の充電ジャックに、充電プラグを確実に差し込んでください。

— 充電時、バッテリーランプが消えない

→室温・運転時間などにより充電時間が長くなることがあります。

・5～35℃の直射日光の当たらない場所で充電してください。

・5 時間以上充電してもバッテリーランプが消えない場合は、お買い上げの販売店または[アイリスコール P50](#)

(☎ [電話をかける](#))へご相談ください。

— 充電中、本体や充電アダプターが温くなる

→充電電流が流れているため、バッテリーや回路が少し発熱しますが、異常ではありません。

— 使用中、本体が温くなる

→バッテリーやモーターの発熱のため、本体が少し温かくなりますが、異常ではありません。

— 電源が切れた

→本体が傾いたり、振動により傾斜時安全装置が働いていることが考えられます。

本体を水平に近い状態にして、電源を入れ直してください。

→回収タンク内の汚水があふれて、本体に汚水が吸引されて、異常吸引停止装置が働いていることが考えられます。

回収タンクの汚水を捨て、回収タンクを本体に再度取り付けてから、汚水が落ちてもいい場所で空運転をしてください。

吸引された汚水が本体排気口より排出されます。

→バッテリー切れが考えられます。

本体を充電台に設置して、充電してください。

保管のしかた

- 本体を保管する際は、タンク、本体内部の水を必ず捨ててください。
- 氷点下および高温になるような場所に保管しないでください。
- 乾燥した場所に保管してください。

廃棄について

- ・ 製品を廃棄する場合は、小型家電製品として、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

その他の情報

仕様

充電温度		5～35℃
連続使用時間※1		約 10 分
バッテリー		リチウムイオン二次電池
バッテリー容量		1900mAh
定格電圧		DC10.8V
定格消費電力		100W
充電電源(充電アダプター)	入力	AC100-240V、50／60Hz
	出力	DC13.7V、0.5A
充電時間		約 4 時間(室温・使用時間などにより充電時間が長くなることがあります。)
吸込仕事率		約 20W
回収タンク有効容量		0.2L
バキュームホース長さ		Φ19mm(内径)×600mm
お湯使用温度		40℃まで
製品寸法(本体寸法)		幅 88×奥行 320×高さ 205mm
製品質量(本体)		約 1.2kg
付属品		充電台、アタッチメントハンドツール、バキュームホース、充電アダプター

※1 満充電、バッテリー初期温度:20℃

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内でも無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは[保証規定 P49](#) を参照ください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P50](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P50](#)(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P50](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>